学校番号	1008

令和８年度　教養

教科	教養	科目	(学)点字	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「初めての点訳」（全国視覚障害者情報提供施設協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視覚障がい者の言語である点字の学びをすすめ､視覚障がい者の生活についても交流を図りながら理解を深める。点字のルールや読み書きの基礎を学び、活用できる力を育む。また、身につけた点字の力で、翻訳等ボランティア活動に参加し、社会に還元できる福祉の実践となるようにする。

2　学習の到達目標

実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、
〇視覚障がいについて理解を深めるとともに､点字のルールや点字器での点字作成の技術を身につけようとする。
〇点字翻訳やボランティア活動を通じて、視覚障がいにおける社会的課題を発見し、授業内容を活かして社会に還元する力を養う。
〇健全な社会の構築を目指して自ら学び､福祉社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・視覚障がい者について、生活上の困難やどのような手助けが必要なのか理解できる。また、点字のルール（書き方・読み方）の基礎を身につける。点字器での手動作成だけではなく、ソフトを用いた点字入力を行うことができる。交流体験で、視覚障がい者とのコミュニケーションを図ることができる。	・点字のルールを踏まえ、正しい表現で簡単な案内や文章の翻訳をすることができる。点字の文字以外の表現方法を活用し、視覚障がい者の方にとってわかりやすい表現について工夫することができる。社会で必要とされる点字の表記活動にボランティア参加し、学びを社会に還元することができる。	・福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取組む態度を身につけることができる。視覚障がい者を理解し、そのニーズの認識を交流とボランティア活動を通して深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	視覚障がいについて 点字の歴史・点字の構成	視覚障がい者の情報環境を体験・理解する 点字の基本構成を理解する 点字表記の基本を理解する 多様な点字の表記方法を理解する 文章の基本形を理解する	a: 点字の基本構成や点字表記の基本についての知識を身に付けている。 b:多様な点字の表記方法について、状況に応じて使用することができる。 c: 授業に積極的に取り組み、参加し、適切な振り返りや質問を行うことができる。	提出物	発表 提出物	発表 提出物 観察
2学期	点字の文法 点訳 視覚障がいの方との交流	点字の文法 点訳ソフトの操作 簡単な文章の翻訳 文書交流・会話交流	a:点字の文法について、基本的な知識を身に付けている。 b:基本的な文法をもとに、状況にに合わせた点訳をすることができる。 c:視覚障がいについて、積極的に調べたり考察したりして、交流することができる。	提出物	発表 提出物	発表 提出物 観察
3学期	点字作成ソフトの使用 年間学習のまとめ	図や絵の描き方 学習した内容の発表	a:点字作成ソフトについて、使い方を理解する。点字の基本を身に付けている。 b:状況に応じて適切に点訳をすることができる。 c:点訳作業を通して、視覚障がいについて積極的に理解し、コミュニケーションを取ろうとしている。	提出物	発表 提出物	発表 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度